

信仰 希望 愛 に生きる

2025年3月9日

Messenger Akio Chief Minister

Worship Leader Akiho

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、
これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。

コリント人への手紙第一 13章 13節

このキリストによって私たちは、信仰によって、
今立っているこの恵みに導き入れられました。
そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいます。
それだけではなく、苦難さえも喜んでいます。

ローマ人への手紙 5章 2～3節 a

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
すべてのことにおいて感謝しなさい。
これが、キリスト・イエスにあって
神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケ人への手紙第一 5章 16～18節

それどころか、私の主であるキリスト・イエスを
知っていることのすばらしさのゆえに、
私はすべてを損とと思っています。
私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、
それらはちりあくただと考えています。

ピリピ人への手紙 3章8節 a

私が見出した次のことだけに目を留めよ。
神は人を真っ直ぐな者に造られたが、
人は多くの理屈を探し求めたということだ。

伝道者の書 7章29節

あなたがたは世も世にあるものも、愛してはいけません。
もしだれかが世を愛しているなら、
その人のうちに御父の愛はありません。
すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、
暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、
世から出るものだからです。世と、世の欲は過ぎ去ります。
しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

ヨハネの手紙第一 2章15～17節

イエス・キリストは、昨日も今日も、
とこしえに変わることがありません。

へブル人への手紙 13章8節

それから、群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた。

「だれでもわたしに従って来なければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音のためにいのちを失う者は、それを救うのです。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。自分のいのちを買い戻すのに、人はいったい何を差し出せばよいのでしょうか。だれでも、このような姦淫と罪の時代にあって、わたしとわたしのことばを恥じるなら、人の子も、父の栄光を帯びて聖なる御使いたちとともに来るとき、その人を恥じます。」

マルコの福音書 8章 34～38 節

しかし、イエスは振り向いて弟子たちを見ながら、ペテロを叱って言われた。

「下がれ、サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

マルコの福音書 8章 33 節

しかし、イエスは振り向いて弟子たちを見ながら、ペテロを叱って言われた。

「下がれ、サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

マルコの福音書 8章 33 節

「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。

わたしはアルファであり、オメガである。

最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

ヨハネの黙示録 22章 12～13 節

考えてみましょう

- ・ これまでどのような価値観で生きてきましたか
- ・ 信仰・希望・愛 に生きると Message を聞いてどのように思いましたか
- ・ これからはどのように生きますか